

新年を迎えたいね

2017年もお世話になりました。



止めましょう！
テロも戦争も
日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
区政レポート

日本共産党議員団
2017~2018, NO. 1532.
御相談はお気軽に
TEL とも 3905-0970
FAX
さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」メガシティ近く)

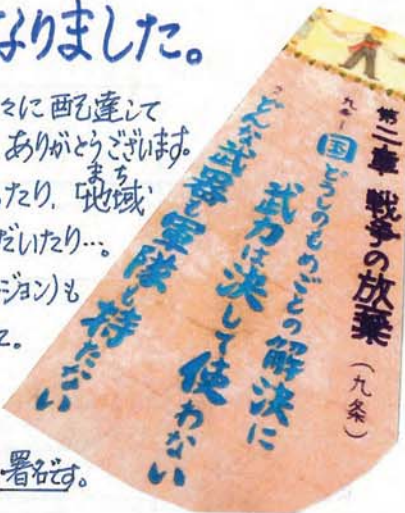
おおやいん (大谷石)

▶都営桐ヶ丘団地、建替前には、いろんな場所で見かけることができました。▶板橋区宇都宮市大谷で産出される石材。
▶今から約230万~533万年前、新第三紀中新世といわれる頃の火山噴出物でグリーンタフの一種。



「区政レポート」ことしも多くの方々に配達していただいたり、熱心にお読みいただきありがとうございます。この「レポート」を通じて交流が広がったり、「地域」の動きがよくわかる」と、激励をいただいたり…。毎週火曜日の朝の「レポート」(赤羽西バージョン)もふくめて、23年間、NO.1532.になりました。

2018年もよろしくおねがいします。
1/4(木) 仕事初めは赤羽西のみ。
1/6(土)は、2時・赤羽西のみは「北区アクション」の宣伝署名です。



2018年恒例 新春バスの旅

いちご狩り・大谷平和観音と資料館

1月21日(日)
参加費6500円

[バス代・いちご狩り・大谷資料館・昼食代含む]



[バスの乗車場所と時間の予定]

- ①7時30分 出発 桐ヶ丘中学校前
- ②7時35分 八幡小学校北バス停
- ③7時40分 法善寺前・赤羽台団地入口
- ④7時45分 都営赤羽住宅・城北信金前
- ⑤7時50分 赤羽郷バス停前



[コース] いわふねフルーツパークでいちご狩り
→道の駅みかも→大谷平和観音、史料館→足利フラワーパーク 昼食と見学など

主催 日本共産党あかぎり後援会
北区赤羽北3-23-17 電話03-3905-0970

新春バスのお申込みは、2018/1/12(金)までどうぞ。3905 TEL, FAX ~0970

「JCPサポーター」 どんな感じがいい

2017.12.24付

1月末の発足をめざす「JCP(日本共産党)サポーター」制度のあり方について、広く市民から意見や要望を聞こうと、日本共産党中央委員会は23日、東京・代々木の党本部で、「市民×共産党 サポーター相談会」を開きました。

ツイッターで参加を募る初の試み。都議選や衆院選で勝手連として共産党候補を応援した人など33人が参加しました。日本共産党から小池晃書記局長、池内さおり前衆院議員、田中悠書記局長が出席しました。

小池氏は「もっと市民に開かれた選挙活動をし、もっと市民と共にたかろ覚になりたい」とあいさつ。制度は、衆院選の教訓の一つ、「選挙活動の日常化を図る」ための新たな取り組みで、市民・国民と共産党が日常的にインターネットやSNSでつながることをめざすと説明。「熱烈に応援したい人も、『ちょっとだけ力になりたい』という人も、それぞれの関わり方で協力できる仕組みにしたい」と抱負を語りました。

参加者からはゆるい「自由に」「他党の応援と両立できるような数層の低いものに」といった声が多く上がりました。

「自由に」「敷居低く」意見次々

衆院東京3区の勝手連で活動した女性(44)は「自主性が全て」と、強要されないことの大切さを発言。「100円募金する人を100万人つくれる制度にしてほしい。そうすれば、共産党へのデマに一言『違うんじゃないの』と言いつける人が広がるのでは」と語りました。

19歳の女子学生は「宣伝物のデザインを、サポーターと話し合う場があるといい」と提案。町田市の女性は「市民と、共産党・後援会が互いにリスペクトの気持ちをもってやれるようにしたい」と話しました。



市民×共産党 サポーター相談会

あいさつする小池晃書記局長(23日、党本部)

区民の再開発・道路計画から 区民の共有財産まもれ

「まちに歴史と文化あり」。北区には歴史が息づく、たくさん宝物があります。ところが現在、都や区が推し進める「まちづくり」計画で、区民の貴重な財産が壊されようとしています。「区民のかけがえのない共有財産を、駅前再開発や大型道路計画で壊してはならない」—日本共産党北区議員団は、住民参画のまちづくりこそ大事だと提案しています。

▶私が昨年の第4定例会区議会でおこなった代表質問の内容です。

年間利用者は20万人以上 赤羽自然観察公園と スポーツの森公園

軍用地解放後、区民参画でつくられた公園の真ん中を貫く、道路計画が、補助86号線(赤羽西)です。

今は草地なので、子どもたちは虫取りや凧あげをしたり。公園利用者はこの草地を通して、2つの公園を自由に行き来しています。



自然観察公園とスポーツの森公園の間の広場

十条銀座の年間来客数は540万人 「庶民のまち十条」こそ大事な地域資源

5つの商店街が、路地から路地へとつながり、「安くて物がいい」と、子どもから高齢者まで安心して買い物できる庶民のまち十条。地元には、築120年の伝統家屋「田の字の家」も現存しています。

この地域に幅員30mの補助73号線計画と、地上40階の駅前再開発。加えて付属街路をとまなう埼京線高架化、いちよう通り商店会に撤退を迫る補助85号線拡幅が都市計画決定され、あわせて500棟、約2000人の立ち退きが迫られています。



十条銀座商店街



太田道灌坐像

歴史的な文化遺産にトンネル

赤羽駅西南の小高い山は、江戸城を造った太田道灌の岩跡で、稲付城跡といわれ、東京都が旧跡に指定。この山に建つ静勝寺にある道灌坐像や、江戸時代の絵地図と多数の古文書は、北区の指定文化財です。赤羽西の補助86号線は、崖線に沿って赤羽自然観察公園や赤羽スポーツの森公園に連なる、景観もよいこの高台をトンネルで突き抜け、住民も立ち退かせる計画です。

志茂のまちを分断、コミュニティを壊すな

北本通りから清掃工場のある周辺が志茂の地域。補助86号線はまちを分断します。「70年も前の道路計画で、静かなまち並みと築いてきたコミュニティを壊さないでほしい」と、区内でいち早く国を相手にした裁判に踏み切りました。今年の夏以降、73号線、十条駅西口再開発、赤羽西86号線でも、住民の提訴が広がっています。



日本共産党の志茂86号線視察

古刹守った! 81号線特定路線除外に

西ヶ原の無量寺を貫通する西ヶ原の補助81号線は、特定整備路線の候補路線に選定された際、住民の反対の声で北区部分(点線)が計画から除外に。江戸六阿弥陀の古刹を守ることができました。



無量寺

区民に身近な窓口がなくなる

今年10月 区民事務所7分室を全廃

北区は、区内7ヶ所の区民事務所分室を今年9月末をもって全廃する条例を区議会第4回定例会に提案。日本共産党と社民・新社会・国民の命所属の無会派議員が反対しましたが、自民・公明・民進クなどの賛成で可決しました。

分室では、住民票の発行や各種収納事務をおこなうほか、住民のよろず相談窓口としても大きな役割を果たしています。利用者は、分室がなくなることで赤羽・王子・滝野川の区民事務所まで出向かねばならず、大きな負担が強いられます。

■ 区民事務所
★ 区民事務所分室

年明けに配布します。
日本共産党北区議員団

区民アンケート 実施中!

ご協力をお願いします

暮らしを直撃

社会保険料相次ぐ値上げ

都道府県化で国保料大幅値上げ

今年度、年間平均7400円もの大幅な保険料引き上げがおこなわれた国民健康保険制度ですが、来年度からの都道府県化で、さらなる保険料の値上げが避けられない見通しです。

日本共産党北区議員団は第3回定例会で、国や都に財政支援などを求める「国民健康保険料の負担軽減に関する意見書」を提案、全会一致で採択されました。

介護保険改悪やめよ

現在策定中の第7期介護保険事業計画では、介護保険料が、さらに引き上がる見通しに。党区議団は、基金を活用し保険料を引き下げを求めています。

一方、厚生労働省は、掃除・調理など訪問介護の生活援助に利用制限を加えることを検討中。介護・医療関係者からも反対の声があがっており、規制方針は撤回すべきです。